

東京国立博物館ニュース

展示と催し物案内 [第720号]

2013
8-9

2・3 平成25年度 秋の特別公開 4 特別展「和様の書」

5 [予告] 特別展「京都——洛中洛外図と障壁画の美」

6・11 総合文化展 見どころ案内 2013年8月・9月/特集陳列「市河米庵コレクション・中国書画文房展」

特集陳列「運慶・快慶周辺とその後の彫刻」/特集陳列「うつす・つくるのこす——日本近代における考古資料の記録——」

本館・東洋館 特別展「上海博物館 中国絵画の至宝」・平成館・法隆寺宝物館 11 保存と修理情報⑧

12・13 みどりのライオン 教育普及事業「講演会／親と子のギャラリー／こどもたちのアートスタジオ／ワークショップほか」

14 INFORMATION 15 TOPICS 16 東京国立博物館2013年8月・9月の展示・催し物



平成25年度 秋の特別公開

総合文化展 秋の特別公開を開催します。
週末はイベントも盛りだくさん。
豊富なコレクションを誇るトーハク総合文化展へ、
この機会に是非お越しください。

当館では、「博物館に
初もうで」「博物館でお花
見を」といった季節に応
じた企画を開催していま
すが、昨年から博物館
に足を運びたくなる秋の
一時期を選んで、館蔵の
優品や特色のある作品を
公開する「秋の特別公
開」を始めました。今回
は国宝や重要文化財の
中から酒井抱一 の代表
作「夏秋草図屏風」(重要
文化財)や平安時代の和
様の名品「和漢朗詠集
(益田本)」(重要文化財)
を公開する他、東洋館で
は、中国・五代・北宋時
代の美しい「二菩薩立像
幡」など、リニューアル
前には公開の機会が少な
かった珍しい作品を二週
間限定でご紹介します。
その他、秋にふさわしい
作品が館内各所に展示
されています。ぜひ広い
館内をゆつくりとお楽し
みください。(田良島哲)



1



3



2

1 ●竹斎読書図 伝周文筆 文安4年(1447)、竺雲等連序・江西龍派等五僧題詩 室町時代・15世紀
大気や遠近の巧みな表現、洗練された作風にご注目ください 本館3室展示

2 ●二菩薩立像幡 五代・北宋時代・10世紀 原本:中国・敦煌莫高窟藏經洞 ペリオ探検隊将来品
ギメ美術館交換品

2体の菩薩像を大きく描き、下に供養者を3人ずつ表しています。吊紐が残っており、もとは寺院の壁を飾っていたと思われる大型の幡です。ギメ美術館交換品として当館所蔵になった美しい幡2件もあわせて公開 東洋館3室展示

3 ◎和漢朗詠集 巻下(益田本) 平安時代・11世紀 中国・宋時代の舶載の唐紙、染紙に雲母砂子を撒いた料紙や雲紙などをまぜて使っています。 本館3室展示

◎夏秋草図屏風 酒井抱一筆 江戸時代・19世紀
銀地に、驟雨に見舞われた夏草と、強風に靡く秋草を描いた抱一の最高傑作。夏草図には急な雨による水の流れを、秋草図には宙に舞う鳶の紅葉を描き添えています。宗達の風神雷神図を模写した光琳の風神雷神図の裏面に描いたもので、琳派の系譜を象徴的に表した作品。当館では3年ぶりの公開となります。本館7室展示

注目！抱一作品をあわせて公開



四季花鳥図巻 下巻 酒井抱一筆 江戸時代・文化15年(1818) 8月20日(火)～9月29日(日) 本館8室展示

そのほかの特別公開作品

●円珍戒牒(円珍関係文書のうち)

平安時代・天長10年(833) (本館1室展示)

地藏菩薩像幡

唐時代・9世紀 ギメ美術館交換品 (東洋館3室展示)

菩薩立像幡

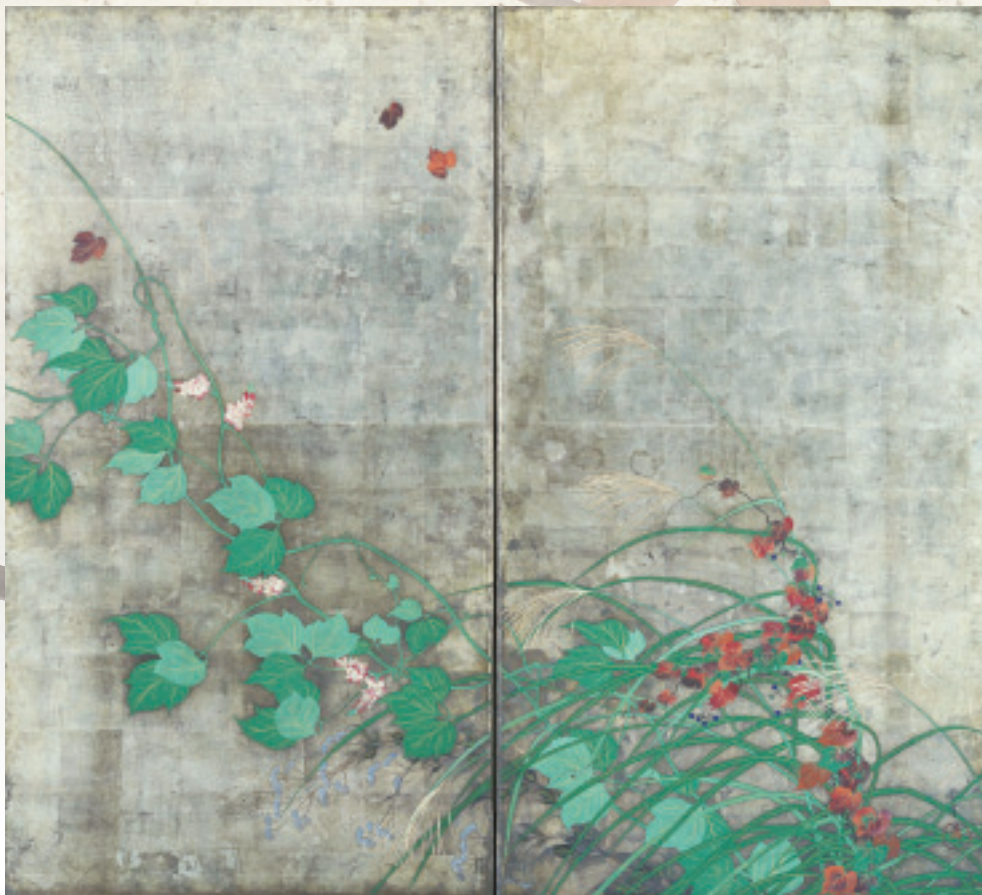
唐時代・9世紀 ギメ美術館交換品 (東洋館3室展示)

白樺製冠帽

三国時代(新羅)・6世紀初頭 韓国 梁山夫婦塚出土 (東洋館10室展示)

漆耳杯「元馬陝絞牢」銘

奈良・前1～後3世紀 朝鮮 伝奈良古墳出土 小倉コレクション 保存会寄贈 (東洋館10室展示)



期間中のイベント

9月21日(土)

留学生の日

日本の学校に所属する留学生、ALT(外国語指導助手)および、その同行者は総合文化展が無料となります。留学生のためのガイダンスや、ボランティアによる各種ガイドツアー・お茶会(有料・当日申込制)など、さまざまなイベントも実施されます。皆様、お誘い合わせのうえ、ぜひ来館ください。

各種ガイドツアー

- ・英語ガイド(本館2階「日本美術の流れ」)
10:00～11:00、15:00～16:00
- ・本館ハイライトツアー 12:00～12:40、
14:00～14:40
- ・法隆寺宝物館ガイド 15:00～15:40
- ・考古展示室ガイド 13:00～13:30
- ・彫刻ガイド 12:00～12:30
- ・浮世絵ガイド 12:30～13:00
- ・たてもの散歩ツアー 11:00～11:40
- ・樹木ツアー 13:30～14:00
- ※屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止
することがあります。

留学生のためのお茶会

11:30～、13:30～(各回1時間)
※各回開始30分前に本館エントランスにて
整理券配布
会場:応挙館
定員:各回15名(留学生のみ)
参加料:300円

イベントは
英語ガイドを除き、
留学生にも
わかりやすい
日本語で
行います

留学生の
みなさん、
待ってるー



9月28日(土)

コンサートと特別夜間開館20時まで

昼はフルート、夜はガムランのコンサートを開催します。表慶館や本館、東洋館などのライトアップを実施し、幻想的な雰囲気の中包まれた博物館で、秋の夜長をお楽しみください。

Music Weeks in TOKYO 2013

まちなかコンサート—芸術の秋、音楽さんぽ

東京都による東京文化発信プロジェクトの一環として開催される音楽フェスティバル「Music Weeks in TOKYO 2013」の「まちなかコンサート」にトーハクも参加します！

日時:9月28日(土) 11:00～、13:30～
(各回30分公演)

会場:表慶館1Fホール

出演:上野由恵(フルート奏者) 他

定員:各回100名(当日先着順)

参加料:無料(ただし、当日の入館料は必要)

主催:東京都 東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人 東京都歴史文化財団)
お問合せ:東京文化会館事業企画課
電話:03-3828-2111(代)

インドネシアの伝統音楽 ジャワガムランと舞踊

東洋館リニューアルオープンを記念して、アジアの音楽で特別一夜を演出します。ジャワガムランの演奏グループ「ランパンサリ」による、インドネシアの伝統音楽をお楽しみください。

日時:9月28日(土) 16:30～、18:30～
(各回45分公演)

会場:平成館ラウンジ

出演:ジャワガムラングループ ランパンサリ、
小島夕季(舞踊)

定員:各回200名(当日先着順)

参加料:無料(ただし、当日の入館料は必要)

関連する講演会・列品解説

講演会「酒井抱一筆「夏秋草図屏風」の魅力」

日時:9月28日(土) 15:00～16:00(開場:14:30
予定)

会場:平成館大講堂

講師:本田光子(絵画・彫刻室研究員)

定員:380名(先着順)

夏の雨、秋の風、銀地屏風の草花たち。季節の一枚に込められた、さまざまなイメージをご紹介します。

聴講料:無料(ただし、当日の入館料は必要)

列品解説「酒井抱一と夏秋草図屏風」

日時:9月18日(水)、9月25日(水) いずれも14:00～14:30

会場:本館地下 教育普及スペースみどりのライオン

講師:金井裕子(特別展室研究員)

尾形光琳筆「風神雷神図屏風」の裏面に描かれていた「夏秋草図屏風」。二つの屏風の関係を考えながら、作者・酒井抱一の素顔に迫ります。博物館ビギナー向けの内容です。

列品解説「インドネシアのワヤン」

日時:9月19日(木) 10:30～11:00

会場:東洋館13室

講師:白井克也(平常展調整室長)

影絵人形ワヤン・クリの製作年代による違いを解説します。

列品解説「西域美術鑑賞入門」

日時:9月19日(木) 14:00～14:30

会場:東洋館3室

講師:勝木言一郎(出版企画室長)

砂漠の大画廊・敦煌莫高窟から発見された幡から、当時の人々がどのように石窟寺院を演出しようとしたのかを読み解いていきます。

列品解説「梁山夫婦塚の白樺製冠帽」

日時:9月19日(木) 15:30～16:00

会場:東洋館10室

講師:白井克也(平常展調整室長)

特別公開される冠帽について解説します。

和様

「わようのしょ」

の書

The Beauty of
Japanese-style
Calligraphy

平成館

7月13日(土)―9月8日(日)

特技は書道というユリノキちゃんが、
島谷弘幸副館長にインタビュ。

テーマは、平安時代に
「和様の書」を生み出し、
そして完成させたという三跡についてです。

ユリ 島谷副館長、よろしくお願ひします。

島谷 ユリノキちゃん、書道は頑張ってますか？ いい字を書くためには、いい作品をたくさん見るといいね。

ユリ はい。早速ですが副館長、今日は三跡についてうかがえればと思います。

小野道風お手本は中国。
でも日本風。

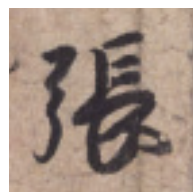
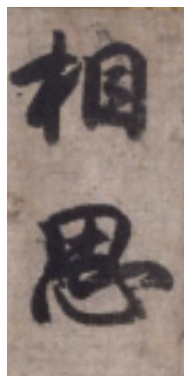


島谷 では、和様の書のはじまりといわれる道風の書から見てみましょうか。道風は少内記という、今でいう公文書の起草や清書の仕事についていました。字がうまかったからでしょうね。道風は中国の書聖、王羲之の再生と言われるほど評判が高かったのです。

ユリ あら？ 和様なのに、中国の王羲之にそっくり？ なんだかわたし、混乱してきちゃったわ。

島谷 中国をお手本としながらも、柔

屏風土代(部分)
小野道風筆 平安時代・延
長6年(928)
宮内庁三の丸尚蔵館蔵
*8/13~9/8展示



インタビューは
はじめて。
ドキドキしちゃうわ。
でも、大好きな書の話だからとっても
楽しみ!



ほー。
ユリノキちゃん、
お仕事
はりきってるほ!



らしく曲線的な表現をしているところが、道風の特長。たとえば、相や思の右上の角を見てみると、柔らかに丸みがあって右肩が少し下がっているでしょう？ 張という字のヘンの部分を見ると、すべて流れるような曲線で書かれていますね。よく言えば優美、悪く言えば骨格が弱い、そこが中国の書との違いであり、和様の書の特長なのです。

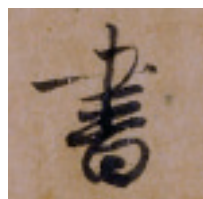
藤原佐理
わびてばかり……

ユリ つぎは、道風の五十年後に生まれた藤原佐理ですね。

島谷 実は佐理の書はたった六點しか残っておらず、そのうち五點がお詫びの手紙なんです。

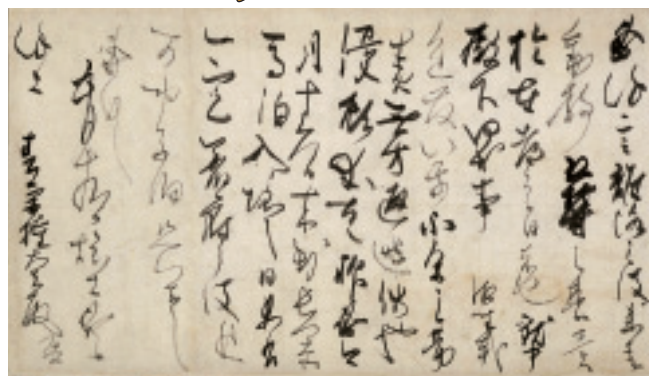
ユリ えーっ？ それ、恥ずかしい。

島谷 普通なら、詫び状なんて後世に残らないでしょう。でも、佐理は字がうまさぎてこんなことになってしまったんですね。佐理は、やらなきゃいけないことを忘れたり、会議に遅刻したり失敗が多いのです。この離洛帖は、



●白氏詩卷(部分)
藤原行成筆
平安時代・寛仁2年(1018)
東京国立博物館蔵

●書状(離洛帖)
藤原佐理筆 平安時代・正暦2年(991) 島山記念館蔵
*7/13~7/25展示



赴任地の太宰府に行くのに、挨拶をせずに京都を離れてしまつてごめんなさい、という手紙。

ユリ うーん、詫び状にしては乱暴に見えるけど……

島谷 でも、筆の運びを追ってみると、勢いのあるところ、ゆっくり書いたところ、太い、細い、濃い、薄いの変化が気持ちよく、急流の水の流れにたとえられます。佐理の流麗な筆遣いと美的センスが感じられませんか？ 全体のバランスがまた絶妙で美しい。

ユリ ほんと！ 筆の動きを追ってかいてみたら、なんだか興奮してきちゃったわ。

島谷 佐理は道風の字を学んだうえで、自由で変化に富んだ独自の書の世界をつくったところがすごいですね。

藤原行成 完璧な優等生



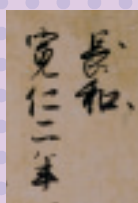
ユリ 最後は藤原行成ね。

島谷 行成は性格がとても素直でバランス感覚のある人だったようです。殿上で同僚と口論になり冠を落とされたときも、庭にいた者に拾わせてさつと泥を落としかぶりなおして行つてしまった。それをみた天皇が感心したという逸話があります。行成は、その優れた人柄そのままに、端正で流麗で優

ユリ あ、ここ間違えてる！「長和」と書いた横に点を付けて、そのあとで「寛仁二年」って書いてるでしょ。点は、ミセケチといって書き間違いだから見えないことにしてください、という意味なの。

トーハク 優等生だって、たまには間違えるってことだよ。なんだか親しみがわくほ。

●白氏詩卷(部分)
藤原行成筆 平安時代・
寛仁2年(1018)
東京国立博物館蔵



特別展「和様の書」

7月13日(土)~9月8日(日) 平成館

主催:東京国立博物館、読売新聞社、NHK、NHKプロモーション

後援:文化庁 特別協力:読売書法会 協賛:光村印刷

協力:あいおいニッセイ同和損保

観覧料金一般1,500円(1,200円)、大学生1,200円(900円)、高校生900円(600円)

*()内は20名以上の団体料金。中学生以下無料。

*障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。

お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600

展覧会公式ホームページ <http://wayo2013.jp/>

関連展示

総合文化展で楽しむ和様の書
特集陳列「和様の書―近現代篇―」
7月13日(土)~9月8日(日) 平成館企画展示室

関連事業

席上揮毫会(書のデモンストレーション)
読売書法会を代表する現代書家が筆を揮います。
日時:8月25日(日) 平成館大講堂
第1回 開場10:00 開演10:30
第2回 開場15:00 開演15:30
定員:300名(当日先着順)
※詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。

美という和様の美を完成させたのです。
ユリ なるほど！ 副館長、では三人のなかで一番の美文字は誰ですか？
島谷 そうですね、やはり行成かなあ。一字一字をとっても、全体のバランスをとっても美しい。完成された美です。でもねユリノキちゃん。美文字ナンバー1は見る人がそれぞれ決めればいいことかもしれないね。
ユリ そっか、副館長ありがとうございます。わたし、もう一度展覧会を見て好きな書を見つけてみます！

日本テレビ開局60年 予告

京都

洛中洛外図と障壁画の美

平成館

10月8日(火)

12月1日(日)

展覧会の見どころ、重要文化財洛中洛外図屏風舟木本。本展覧会の担当研究員、松嶋雅人が舟木本の魅力を解説します。さあ、洛中洛外図の楽しい世界のはじまり。

洛中洛外図とは？

【左隻第5扇】

京のブランドショップ・呉服店での品定め

下立売通には、二階建ての立派な高級呉服店に人気の商品「辻が花」をプレゼント用に買い求める男たちが集まります。侍女二人を連れた縞模様の小袖を着た二人の女性が、亀甲文様の反物を道上で広げて品定めしています。彼女たちに左から袈裟の僧たちが視線を向け、右から中刺の若衆がみつめています。一人の女性は、反物でなく若衆にこっそり目を向けているようです。



【左隻第3扇】 祇園祭の神輿渡御

三条通から寺町の御旅所（神が巡幸の途中で宿泊する場所）へ南下する神輿二基が神幸します。手に扇をもった男たちが狂喜乱舞しながら先導し、片肌脱いだ男衆が一心不乱に神輿を担ぎます。神輿が暴れ狂う祇園祭の最も重要な神事です。



◎洛中洛外図屏風 舟木本 岩佐又兵衛筆 江戸時代・17世紀 東京国立博物館蔵

【右隻第6扇】 遊女の身支度

京の遊郭は、二条城築城のために慶長7年（1602）に六条柳町（三筋町）に移されました。三筋町下の町に面した遊女屋の奥向きでは、遊女たちが身支度に余念がありません。



【右隻第1扇】

方広寺梵鐘

豊田秀吉が東大寺の大仏にならい大仏殿（方広寺）を創建しました。大仏は二度失われ、子の秀頼が再建した際あわせてこの銅製の梵鐘も作られました。この鐘に刻まれた銘文「国家安康 君臣豊楽」が、徳川家康を呪うものとして咎められ、大坂の陣で豊臣家が滅亡するきっかけとなったといわれています。この銅製の鐘は現在も豊国神社の境内にあります。



日本テレビ開局60年

特別展「京都—洛中洛外図と障壁画の美」

10月8日(火)～12月1日(日) 平成館

主催:東京国立博物館、日本テレビ放送網、読売新聞社

特別協賛:タマホーム

協賛:光村印刷、日本興亜損保

協力:全日本空輸、日本貨物航空、日本通運、JR東日本、BS日テレ、シーエス日本、ラジオ日本、J-WAVE、文化放送、テレビ神奈川、楽天トラベル

技術協力:キャノン、キャノンマーケティングジャパン、JVCケンウッド、凸版印刷

観覧料金:一般1,500円(1,300円/1,200円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円)

* ()内は前売り/20名以上の団体料金。中学生以下無料。

*障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。

*前売券の販売は10月7日(月)まで

*早割ペア券(2枚1組セットで2,200円)は7月31日(水)までの期間限定販売。(東京国立博物館では販売しません)

お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600

展覧会ホームページ: <http://www.ntv.co.jp/kyoto2013/>

関連イベント

記念講演会

① 10月19日(土)13:30～15:00

「400年前の京都に遊ぶ—Forward to the Past」

講師:松嶋雅人(特別展室長)

② 11月3日(日・祝)13:30～15:00

「舟木本洛中洛外図—浮世絵は京都で生まれた」

講師:佐藤康宏(東京大学文学部教授)

会場:平成館大講堂

定員:380名(事前申込制、応募多数の場合抽選)

聴講料:無料(ただし、本展覧会の観覧券が必要。半券でも可、その場合は別途、入館料が必要)

申込方法:往復はがきの[往信用裏面]に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・希望する講演会番号(①②のいずれか)を、[返信用表面]に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記までお申込ください。

*1枚のはがきで、1つの講演会につき、最大2名の申込可。2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記してください。

申込先:〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸屋町1-28-9 ウィンダム内

京都講演会(希望する講演会①②のいずれか)係

申込締切:①9月9日(月)②9月30日(月)消印有効

企画チケット

本展の開催を記念して3種の企画チケットをご用意しました。

①「秋のスペシャルナイト3Dプロジェクションマッピング付き」チケット(2728枚限定9月中旬販売開始予定)、②「とらや 京都限定販売和菓子付き」チケット(300枚限定)、③「組立式 洛中洛外図 舟木本付き」チケット(300枚限定)です。②・③のチケットは発売中です。詳しくは展覧会ホームページをご覧ください。

本展公式アプリ

「洛中洛外図屏風 完全版」配信予定

高精細画像を使って「洛中洛外図屏風 舟木本」の細部に迫り、当時の風習、文化、ファッションなどをQ&Aで分かりやすく紹介します。

対応端末:iPhone、iPad、iPad touch 価格:450円

* iPhone用 無料アプリも配信

<https://itunes.apple.com/jp/app/id636431131>



注目の特集

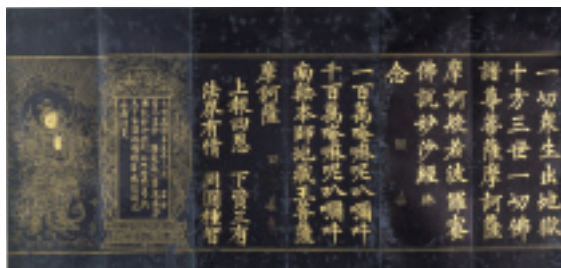
江戸の文人コレクションの世界

特集陳列

「市河米庵コレクション・中国書画文房展」

8月6日(火)～9月23日(月・祝)

●東洋館 8室



楷書妙沙經冊

明神宗筆 明時代・万暦29年(1601) 市河三兼氏寄贈

市河米庵の楷書の基礎となった作品です

市河米庵(一七七九～一八五八)は、書家・学者として江戸時代の末に活躍しました。儒者である父の簡斎のほか、林述斎、柴野栗山に学び、長崎で清の胡兆新から本場の書法を伝授され、巻菱湖・貫名松翁とともに幕末の三筆と称されます。門人は五千人に及び、その財力を背景に、中国から舶載された金石書画の蒐集に努め、自ら『小山林堂書画文房図録』を刊行しました。米庵の没後、このコレクションは散逸してしまいましたが、ご子孫が再収集に尽力され、多くの作品が当館に寄贈されました。江戸時代、中国の文化に心酔した市河米庵。そのコレクションの独特な世界観をお楽しみください。

(富田淳)

継承された作風と個性を知る

特集陳列

「運慶・快慶周辺とその後の彫刻」

8月27日(火)～11月17日(日)

●本館 14室

運慶作の可能性が高い栃木・光得寺と東京・真如苑所蔵の大日如来坐像二軀を中心にした特集です。今回は快慶作の大日如来坐像(東京芸術大学大学美術館)、快慶工房作の菩薩面(兵庫・浄土寺)、快慶の作風に近い阿彌陀如来立像(当館)、そして肥後定慶作毘沙門天立像(東京芸術大学大学美術館)などをあわせて展示します。鎌倉時代初頭に活躍した運慶と快慶、その次の世代を支えた定慶の仏像を比較して見れば、慶派仏師に継承された作風とそれぞれの個性を知ることができます。快慶工房の菩薩面も同様ではありません。じっくりご覧ください。

(浅見龍介)

阿彌陀如来立像

鎌倉時代・13世紀

衣文を規則的に刻むのが快慶風



大日如来坐像

平安～鎌倉時代・12世紀 東京・真如苑蔵

快慶の像と比較して見ると新たな発見もあるはず

考古学と美術の出会い

特集陳列

「うつす・つくる・のこす」 —日本近代における考古資料の記録—

9月10日(火)～10月20日(日)

●本館 特別2室



上古時代男子図

杉山寿栄男筆

昭和12年(1937)以前

誇らしげに着装している冠の模造品(昭和7年以前製作)もあわせて展示します。冠の現品も平成館考古展示室でご覧いただけます

考古資料の展示では、遺物のほかに、遺跡の情報を伝える写真や復元模造品も重要な資料として展示を盛りたてます。大正時代に洋画家の長原孝太郎や二世五姓田芳柳が遺跡を描いた油絵や、昭和初期に図案家の杉山寿栄男が遺物を描いた掛軸も、かつての考古展示に彩りを添えていたことでしょう。

この特集陳列では、考古資料の展示に関連するこれらの絵画作品と実物の考古資料を対比して展示します。さらに、近代・現代の復原品や複製品を通して考古資料のさまざまな展示方法もご紹介して、近代における考古資料と美術の関係に迫ります。

(鈴木希帆)

本館 2 室 国宝室

本館で楽しむ和様の書

国宝

和歌体十種

8月6日(火)～9月8日(日)



●和歌体十種 平安時代・11世紀
藍と紫のおおきな飛雲がうかんでいます

特別展「和様の書」にあわせて、本館2室(国宝室)・3室(宮廷の美術)でも和様の書の名品をご紹介します。「和歌体十種」は歌学書で、和歌を「古歌体」「神妙体」など十体に分けて説明しています。一緒に展示する掛幅は、卷子本から分割されたもので、茶の湯で使われたのでしょうか、料紙が少し焼けています。大きめの飛雲が浮遊する美しい料紙と、筆先がくるくると回ってみえる繊細で軽やかな仮名と漢字の調和をお楽しみください。(恵美千鶴子)

本館 10 室 浮世絵と衣装

人気絵師をシリーズで紹介

重美

見立菊慈童

8月20日(火)～9月16日(月・祝)



○見立菊慈童 鈴木春信筆 江戸時代・18世紀
春信描く可憐な魅力をは非ご覧ください

浮世絵の展示は、季節に合った作品を選んで陳列を構成してきました。今年は、その他に三人の人気浮世絵師の作品をまとめた展示を行います。第一回は鈴木春信(8月20日～9月16日)を取り上げます。初期作である紅摺絵から、錦絵誕生期の作品まで、見立や和歌の世界に題材をとった作品のほか、当時人気の美人を描いたものを含めて三十四図を展示します。第二回は、鳥居清長(9月18日～10月14日)。初期から晩期まで肉筆画を加えての展示です。第三回は、歌川広重を予定しています。どうぞお楽しみに。(田沢裕賀)

本館 11 室 彫刻

彫刻で楽しむ和様の美

重文

地蔵菩薩立像

9月10日(火)～12月1日(日)



◎地蔵菩薩立像 平安時代・12世紀
京都・浄瑠璃寺蔵
衣や台座に花が描かれています。探してみてください



この像は和様彫刻の典型です。やさしい顔立ちでからだの肉付きは少なく、横から見ると起伏がありません。そして袈裟は薄く、衣の襷は浅く刻まれています。台座も蓮の花弁が扁平で薄く、先端の反りは繊細です。このように全体に穏やかで優美な作風が和様の特徴です。像表面を飾る彩色にも注目してください。色を塗った上に鍍金文様(金箔を細く截って文様をつくる技法)をほどこしています。華麗な料紙に繊細かなを書いた王朝貴族の美意識がここにもあらわれています。(浅見龍介)

本館 12 室 漆工

静と動を組み合わせた巧みな意匠

国宝

片輪車螺鈿手箱

6月11日(火)～9月1日(日)



●片輪車螺鈿手箱(蓋表) 鎌倉時代・13世紀
貝片を細く切り透かした、高度な螺鈿技術もお見逃しなく

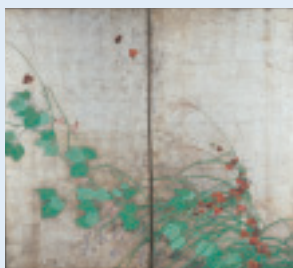
水辺の恋しい季節、水を描いた文様に注目してみましょう。片輪車文様は元来、牛車の車輪が干割れるのを防ぐため、川に浸した情景を写したものだといわれています。この手箱では、車輪は流線形にデフォルメされ、向きを揃え、規則的に配置されて、整然とした印象です。ただし箱の外側全体に限らず、蒔絵の細線で描かれた波濤は、互いにおつかりあい、波がしらが踊り、躍動感に満ちています。静と動という対照的な表現を組み合わせながら、見事に一つの意匠にまとめ上げているのです。(竹内奈美子)

7

屏風と襖絵 — 安土桃山・江戸

大画面の作品から生み出される空間の広がりを感じとってください。

9/18 水 9/29 日 秋の特別公開



必見

◎夏秋草図屏風

酒井抱一筆
江戸時代・19世紀
野分に吹き流される秋草。その一瞬をとらえた抱一の眼

8/18 日

寄り合い書きの色紙が貼り込まれた土佐派の歌仙絵、源氏絵をご覧ください。

源氏物語図屏風

土佐一得筆 安土桃山時代・16世紀
書とミニチュールの共演

必見

5

6

武士の装い

— 平安～江戸

9/29 日

◎黒系威二枚胸具足

江戸時代・17世紀

黒を基調にした具足で、金銀であらわされた文様が映えています

必見

平安時代から江戸時代までに用いられた刀剣や甲冑などの武具に加えて、武士の肖像画や書を展示します。

本館 7 室

屏風と襖絵
— 安土桃山・江戸

本館 6 室

武士の装い
— 平安～江戸

8 - 1

暮らしの調度
— 安土桃山・江戸

安土桃山から江戸時代に人々の身の回りを飾った調度や器を展示します。

9/16 月・祝 暑い季節、涼風を思い起こさせる水辺の意匠の品々を中心にご覧いただきます。

必見

◎網干簾時絵櫛

江戸時代・17世紀
漁獲用の網を干す情景は、屏風絵や工芸品のモチーフによくみられます

◎柳樹寫柄鏡

江戸時代・18世紀
徳川頼貞氏寄贈

若葉が風にそよぐ柳の下、水辺に憩う鶯は涼しげです

必見

◎青磁染付水車文大皿

鍋島 江戸時代・17～18世紀 個人蔵

染付の青海波文と青磁釉を交互に配し、水と空間の広がり表現しています

必見

8 - 2

書画の展開
— 安土桃山・江戸

さまざまな表現で広がる豊かな視覚文化の時代を体感してください。

8/18 日

和歌が記された絵画とともに和歌の歌意を絵画化した作品など、和歌に関わるやまと絵。



◎牧馬図屏風

松本山雪筆 江戸時代・17世紀
書と優美な細密描写との共演

必見

特別展「和様の書」と連動、江戸時代の名筆を一挙公開。

必見

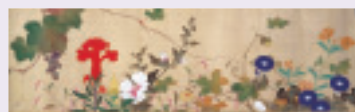
◎芥子下絵和歌巻

本阿弥光悦筆 江戸時代・寛永10年(1633)
下絵と調和した繊細優美な和歌巻

必見

8/20 火 9/29 日

和歌が記された絵画とともに和歌の歌意を絵画化した作品など、和歌に関わるやまと絵。



◎四季花鳥図巻 下巻

酒井抱一筆 江戸時代・文化15年(1818)
典雅な秋の風情が溢れる絵巻

必見

◎一行物

松平不昧筆 江戸時代・19世紀 松平直亮氏寄贈
文人大名松平不昧の筆に成る禅語

必見

9

能と歌舞伎

室町時代～江戸時代に用いられた能面・能装束・歌舞伎衣装などを紹介します。

8/18 日

「貴徳」「陪臚」に使われた江戸時代の舞楽装束を中心に展示します。



◎舞楽装束 貴徳 襦袢

江戸時代・19世紀
走舞の一つである「貴徳」。縁に房飾りがついた袖無し貴頭衣が特徴です

必見

8/20 火 10/14 月・祝

能「呉服」に合わせて、江戸時代の能面・能装束を展示します。



◎長絹 緑地葉折枝高模様の

江戸時代・18世紀
袖を翻して舞う姿が美しい長絹

必見

【衣装】小袖や髪飾り、印籠や根付など江戸時代のファッションに関する展示です。

8/18 日

帷子や単衣といった夏のキモノや涼しげなガラスの簪などを展示します。



必見

◎帷子 黒紅麻地扇面雪輪手宮秋草模様

江戸時代・17世紀
涼しさを呼ぶために雪をデザインした麻の単仕立の帷子

8/20 火

夏から秋の季節の変わり目にあわせて、帷子・単衣、小袖などを展示します。

10/14 月・祝



必見

◎帷子 玉子色麻地見立鳥に葛模様の

江戸時代・18世紀
鶯や雀、扇などを鳥に見立ててデザインしたユニークな光琳模様

10 浮世絵と衣装 — 江戸

【浮世絵】江戸時代の美人や風景を描いた版画の浮世絵を展示します。



7/23 火 8/18 日

夕涼みや花火などの夏の水辺の風俗など、夏らしい季節感に富んだ作品を展示します。

◎名所江戸百景・両国花火

歌川広重筆 江戸時代・安政5年(1858)
夏、隅田川の花火

必見

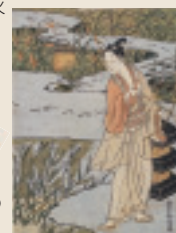
8/20 火 9/16 月・祝

鈴木春信の世界を広く紹介します。

◎恋の矢文

鈴木春信筆 江戸時代・18世紀
茄子畑と一が狙うのは恋的

必見



9/18 水

10/14 月・祝

初期から晩期まで、肉筆画を加え、清長の世界を概観します。

◎三代目

瀬川菊之丞の石橋

鳥居清長筆 江戸時代・寛政元年(1789)
清長らしい華やかで健康的な石橋

必見

特別展

上海博物館
中国絵画の至宝東洋館リニューアルオープン記念
予告中国の絵画の教科書がいまここに
一級文物19件をふくむ40件もの名品が勢ぞろい！

博物館の珠玉のコレクションによる中国絵画の名品をご紹介します。今回のイチオシは宋元時代の至高の文人画ですが、近年特に評価が高まっている明末清初の奇想派の絵画にも大注目です。当館では二十年前にも上海博

物館展を行いました。当時まだ十分に評価が定まっていなかった呉彬や崔子忠など、「エキセントリックスクール」と呼ばれる画人たちの代表作も登場します。

明王朝の末期、それまで隆盛を誇っていた清雅な文人画に對抗し、激しい個性をあらわす画人たちが現れます。前者の代表が呉派の文徵明なら、後者の代表が奇想派の呉彬。今回はこの両者の代表作を対比的に展示します。宋元から明末清初に至るまで、中国美術史の教科書に載っている傑作、名品、異端作がズラリ。日本で言うなら、平安鎌倉の傑作絵巻から、雪舟、永徳のアカデミズム、若冲の個性派までが並ぶような豪華ラインナップ！どうぞご期待ください。
(塚本磨充)

一級文物
石湖清勝図巻
文徵明筆 明時代・1532年
上海博物館蔵
どこまでも心洗われるような呉派文人画の神品です



山陰道上図巻(部分)

呉彬筆 明時代・1608年 上海博物館蔵
見ていると頭がクラクラするような奇想派の代表作。
全長なんと10メートル！

特別展

「上海博物館 中国絵画の至宝」

10月1日(火)～11月24日(日)

東洋館8室

主催：東京国立博物館、上海博物館、
日本経済新聞社、毎日新聞社

協力：全日本空輸株式会社

総合文化展料金でご覧いただけます。

*障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。

お問合せ：ハローダイヤル 03-5777-8600

東洋館8室

10月1日(火)

|

11月24日(日)

作業場の風景

6月4日(火)～9月1日(日)

永遠の命へのあこがれ

東洋館
3室

西アジア・エジプトの美術



作業場の光景

上エジプト出土 中王国時代・前2000年頃

今もエジプトでは、古代と同じ薄いパン(エイシ)が主食です。

古代エジプトでは、人は死後新たな生命を与えられて、永遠に生きたいと願いました。この作品は、死者のために働く四人の召使いたちの群像です。パンを焼くために、粉を挽く者、それを捏ねる者もいます。死者もパンを食べたりビールを飲んだりして、現世のような生活を続けることができる信じられていたからです。

当館には、同じ墓から出土したと思われる、働く人々の像が六つあり、これはその一つです。いずれも単なる模型ではなく、墓の扉が閉じられた後は、主人である死者のために永遠に働き続けると思われていました。

(後藤健)

独特の美と個性

東洋館
12室

東南アジアの陶磁

クメール・インドネシア・
ベトナムのコレクション

7月2日(火)～12月15日(日)

東京国立博物館の東南アジア陶磁コレクションの中核をなすのは、戦前に収集された歴史的な作品群です。インドネシアに駐在した岡野繁蔵(一八九四～一九七五)の旧蔵品はその代表的なものです。また、昭和十九年(一九四四)にフランス極東学院との美術品交換で当館所蔵となったクメール陶磁も貴重なコレクションです。これら古い収蔵品に近年新たな寄贈が加わり、東南アジア陶磁コレクションは進化し、より充実したものとなっています。

このたびのリニューアルにより、東南アジア陶磁を12室にて通年ご覧いただけるようになりました。中国や日本の陶磁とはまた一味違った風情を楽しんでいただけることでしょう。(三笠景子)



青花牡丹唐草文壺

15～16世紀 ベトナム

牡丹は勢いにあふれる大胆な筆致であり、気品も感じられます



黒釉劃花文瓶

アンコール時代・11～12世紀
クメール、プノン・クロム出土

フランス極東学院交換品

深みのある黒釉と白地の対比が魅力的なクメールの陶器です

宝物に 浸る

考古で 遊ぶ



● 鸚鵡文蕩縹毯代

奈良時代・8世紀

おおらかな天平の美。かわいい蝶にもご注目

8月20日(火)～9月16日(月・祝)

重文 鸚鵡文蕩縹毯代

天平時代の卓越したデザイン

● 法隆寺宝物館 第6室

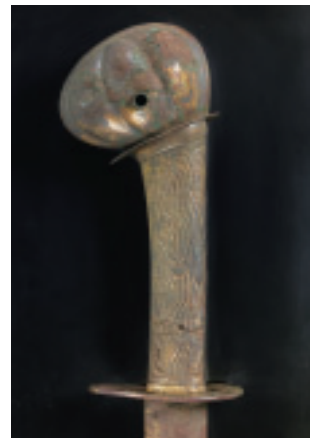
仲良く向かい合った鳥と唐草文を、紅色の絹に染め抜いた作品。唐草の上に蝶が飛んでいるのが見えるでしょう。日本の染織が優美な表現へと向かう兆しがみとめられます。毯代とは獣毛でできた敷物の代用品という意味です。この作品も本来は蘭箆を芯に入れ、赤く染めた絹の裏地をつけて敷物に使われていました。版型に溶かした蠟をつけ、スタンプした後に染めることで、文様が浮かび上がっており、こうした技法を「蕩縹」といいます。蠟のひび割れや付き具合の効果によって生じた、おおらかな美しさをお楽しみください。

トーハクくんサイズ!

下のイラストにはまちがいが2ヶ所あります。右のイラストと比べて、さがしてください。(答えはこのページの下にあります)



本作について、天保十三年(一八四二)に江戸回向院で行われた法隆寺出開帳の公式ガイドブック『御宝物図絵』には、「孝謙帝御寄付」との解説があります。伝承の正否は不明ながら、稜形や円形に動植物をまとめた文様は正倉院宝物に多く、およそ八世紀半ば以降の製作と考えられます。(三田覚之)



頭椎大刀

古墳時代・6～7世紀 茨城県かすみがうら市箕ヶ崎出土 山本又兵衛氏寄贈
往時は大刀全体が金色に輝いていたことがうかがえます

刀装具の表面にタガネで刻まれた緻密な文様も見どころです

7月9日(火)～12月1日(日)

頭椎大刀

貴人の帯びた瀟洒な「金の大刀」

● 平成館 考古展示室

古墳時代には、朝鮮半島との活発な交流により、大陸文化の刺激を受け、その後期には金銀で飾った武器、馬具、装身具へのあこがれが高まりました。その結果、日本列島の刀剣にも、実用性から離れた華やかな装飾が施されるようになります。なかでも、大刀の柄の先端が握りこぶしのような形をした頭椎大刀

は、日本列島で考案された独自のデザインです。本例のように全体に金銅製の金具を用いた、いわば「金の大刀」をはじめとする、金銀で飾り立てた刀剣は、当時所有者の身分や権威を誇示するための器物であったとも考えられています。(橋本英将)

トーハク PR キャラクター

トーハクくん
ユリノキちゃん!!

これからも
スエナガク
よろしく頼むほ!

トーハク 140周年
を記念して
生まれたの



1000年後の未来に バトンタッチ!

保存と修理事情

18

東京国立博物館の 臨床保存「改訂版」 が発刊されました

改訂版「東京国立博物館の臨床保存」が出来上がりました。本書は、東京国立博物館において日々行われる診断、予防、修理など、臨床保存の具体的な事例を紹介し、博物館が使命に向かつて歩む姿をお伝えするものです。博物館の使命は保存と公開です。それを具体化するための実践的な方法として臨床保存が生まれました。博物館の活動を安全に、そして持続的に行うためにはあらゆるリスクを想定し、リスクを事前に回避することが大切です。そのためには、機動性と実効性を兼ね備えた保存活動に取り組みする必要があります。専門家はもとより、広く一般の方々にも本書を手にとっていただき、皆さまと文化遺産の保全に向けた使命感を互いに共有できるよう強く望んでいます。本書は、東京国立博物館ミュージアムショップまたはインターネット上の書店よりご購入いただけます。(神庭信幸)



改訂版「東京国立博物館の臨床保存」600円

ART
1

知る楽しみ、学ぶ喜び
講座・講演会・解説

講演会

月例講演会「絵巻物残欠愛憎の譜」

日時:8月24日(土)13:30～15:00

講師:土屋貴裕(平常展調整室研究員)

特集陳列「断簡一掛軸になった絵巻」にちなみ、展示作品の魅力や伝来をめぐるさまざまなドラマをご紹介します。*本誌前号6ページ参照



おひさまがあらう えききんかん
男衾三郎絵巻断簡
鎌倉時代・13世紀

月例講演会「縄文時代の人と動物の造形」

日時:9月14日(土)13:30～15:00

講師:品川欣也(考古室研究員)

縄文時代の人と動物の造形の変遷をご紹介します。特集陳列「縄文土器に飾られた人物と動物」の見どころについてもお話します。

*本誌前号6ページ参照

*開場は開始の30分前(予定より早める場合もございます)。いずれも会場は平成館大講堂。定員380名(先着順)、聴講無料(ただし、当日の入館料は必要)



列品解説

日本美術のつくり方Ⅳ

日時:8月6日(火)14:00～14:30 本館特別2室

講師:伊藤信二(教育普及室長)

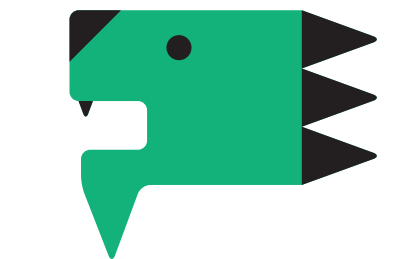
つくり方を知れば、見方がわかる、見方が変わる! 夏休み恒例の「親と子のギャラリー」つくり方シリーズ。今回は料紙装飾・七宝・人形・銅鏡の4つについて、展示をみながらお話します。*本ページ下欄参照

近現代の和様の書

日時:8月20日(火)14:00～14:30 平成館企画展示室

講師:恵美千鶴子(書跡・歴史室アソシエイトフェロー)

近現代の和様の書の見どころをご紹介します。*本誌4ページ参照



みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース

EDUCATION CENTER 教学中心 교육센터

宗達派「扇面散屏風」を読み解く

日時:9月3日(火)14:00～14:30

東洋館シアター

講師:本田光子(絵画・彫刻室研究員)

依屋宗達は扇などを作る工房を営んでいたとされます。扇面を貼りまぜた屏風をもとに、さまざまなテーマがどのように描かれているかをお話します。



宗達派 江戸時代・17世紀
山本達郎氏寄贈

大谷探検隊一大谷光瑞と西域探検の時代一

日時:9月10日(火)14:00～14:30

東洋館シアター

講師:佐々木佳美(登録室アソシエイトフェロー)
20世紀初頭、仏教の源流をたずねて西域を探検し、多くの美術品を日本へ持ち帰った大谷探検隊についてお話します。

また、
クッキー探しに
いったの
かしら……



ART
2

大人も子どもも楽しめる
夏休みファミリー向け展示

親と子のギャラリー

「日本美術のつくり方Ⅳ」

日時:7月17日(水)～8月25日(日)

会場:本館特別2室

夏休み恒例の親と子のギャラリーは、今年も「つくり方」に注目。

料紙装飾・七宝・人形・銅鏡の4つの技法の工程を展示します。

つくり方が
わかると、いままで
見えなかったことが
見えてくるわね



七宝

ガラス質の釉薬を、銅などの金属の表面にぬり、それを窯の中で焼いて、色を付ける技法です。



七宝技術記録
安藤七宝店作
昭和28年(1953)
左から右へと、色とりどりの
美しい模様が完成するまで

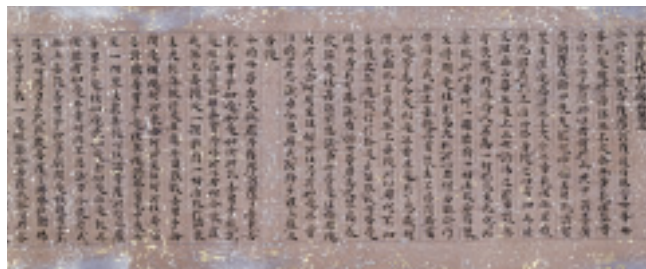
料紙装飾

金銀の箔や粉を用いた切箔や砂子などの装飾技法についてご紹介します。

◎法華経 無量義經徳行品(久能寺経)

平安時代・12世紀

きらきら光る金銀の箔をちりばめた美しい紙



人形

木で形を作り、顔に整えていく工程を紹介しします。

銅鏡

昔の鏡は銅でつくられました。その形の作り方や裏の文様の表し方を紹介します。



人形の胡粉仕上の技法製作工程見本
原米洲作 昭和42年(1967)
木の形から立派なひげはえるまで

ART 3

五感を使った美術体験 ワークショップ

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

ワークショップ

「考古学者に挑戦!」

小学生、中学生の皆さんからは、「考古学者の仕事」についての質問が多く寄せられます。

……でもみなさんは考古学者に会ったことがありますか?

いったいどんな人だと思いますか?どんな仕事をしているのでしょうか?

東京国立博物館の考古学者の発掘体験談を聞きながら、考古学者の仕事である発掘された考古遺物の調べ方、見方を教えてもらい、考古学者の仕事に挑戦してみましよう!

日時:10月5日(土) ①10:00~12:00 ②14:00~16:00

会場:平成館小講堂

対象:①小学1~4年生とご家族、②小学5年生~中学生

定員:①10組、②20名(応募者多数の場合抽選)

参加費:無料(ただし、当日の入館料が必要)

申込方法:当館ウェブサイトの申込フォームか往復はがきでお申込むください。往復はがきの場合には、「往信用裏面」に(1)参加者全員の氏名・ふりがな・年齢(2)代表者の郵便番号・住所(3)代表者の電話番号・FAX番号(4)希望の回を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記申込先にお送りください。

申込先:〒110-8712

東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館 教育普及室

「考古学者に挑戦!」係

申込締切:9月12日(木) 必着

*回によって対象が異なります

のでご注意ください。②は

保護者の方のご参加をご遠慮

いただく場合がございます。予

めご了承ください。



ART 4

あなたの鑑賞をサポート ボランティアによる事業

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

こどもたちのアートスタジオ

「ファミリーで勾玉作り」

平成館考古展示室にある古代の勾玉を見学した後に、滑石を加工してオリジナルの勾玉を作ります。

日時:11月3日(日・祝)

13:30~15:30

会場:本館地下

教育普及スペースみどりのライオン

対象:小学3年生~中学生とご家族

定員:5組程度(応募者多数の場合抽選。一度の申込で5名までお申込むいただけます)

参加費:無料(ただし、18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)

申込方法:当館ウェブサイトの申込フォームか往復はがきでお申込むください。往復はがきの場合には、「往信用裏面」に(1)参加者全員(5名まで)の氏名・ふりがな・お子さんの学年、(2)代表者の郵便番号・住所、(3)代表者の電話番号・「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記申込先にお送りください。

申込先:〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館ボランティア室

「11月3日ファミリーで勾玉作り」係

申込締切:10月7日(月)必着



家族みんなが一つずつ作ります



石は紙やすりで簡単に削れます

*「東洋館シアター」とは、東洋館TNM&TOPPANミュージアムシアターのことで。

*事前申込プログラムにお申込むいただいた方には、当落に関わらず連絡いたします。実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、各申込先に電話でお問い合わせください。電話03-3822-1111(代表)

*各種催し物にご応募の際に提供いただいた個人情報は、当該の目的のみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。

ユリノキちゃんのワンポイントコーナー



ユリノキちゃん

「博物館の仕事
ガイダンス」の様子です。
博物館の仕事って、
作品を展示することのほかに
何があるのかしら?



らえるように、教育普及室のスタッフが丁寧にご説明します。全国の先生のみなさん、ぜひ活用してくださいね。」

「トーハクウェブサイト「スクールプログラム」のページに詳しく書いてあるほ。ボクも修学旅行でトーハクに行きたいほ!」

「トーハクくんはここに住んでるのに…。さすがトーハクPRキャラクターだけあるわね!」

Q スクールプログラムって、なあに?

「あれ?学生諸君が集まってるほ。おーいみんな!なにしてるほー!」

「トーハクくんお静かに!スクールプログラムの真っ最中よ。」

「スクールプログラム?それはなんだほ?」

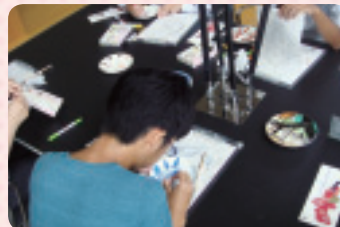
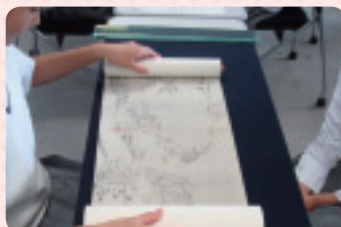
「小学校・中学校・高校のみなさんが、学校の授業で博物館を見学するときに参加できるプログラムなの(事前予約制です)。

「ガイダンスを聞く」、「作品をじっくり見る」、「ワークショップ体験」、「博物館の仕事について聞く」など、時間や人数にあわせて好きなコースを選ぶことができるのよ。」

「博物館の楽しかたって、作品を見るだけじゃないんだね!でも、ちょっと難しそうだほ。ボクにもわかるかなあ…」

「大丈夫!初めて来館した人でもトーハクのことを知って楽しんでも

むかしの人は、絵巻を
どうやって見ていたのかな?
絵巻の取り扱いを
体験できるんだって!
なりきり研究員さんだほー!



ワークショップ「伝統
もようのお血づくり」
では、日本の伝統的な
模様を陶芸用のサイン
ペンでお皿に描いて、
古美術を学びます

トーハクくん

イベント開催のお知らせ

東京国立博物館 秋のコンサート

～世界の藤原真理と新進気鋭の大田佳弘による秋のコンサート～

日時:9月29日(日) 開場14:00 開演14:30

会場:平成館ラウンジ

出演:藤原真理(チェロ)、大田佳弘(ピアノ)、倉戸テル(ピアノ伴奏)

曲目:〈ピアノ 大田佳弘〉

スクリャービン:左手のためのノクターン 作品9の2

リスト:ハンガリー狂詩曲 第2番 嬰ハ短調 ほか

〈チェロ 藤原真理/ピアノ伴奏 倉戸テル〉

ラフマニノフ:前奏曲、ヴォカリーズ、エレジー

グリーグ:ソナタ

料金:5,000円 友の会割引 4,000円 全席自由

*当日は、コンサートチケットで、総合文化展をご観覧いただけます。

主催:東京国立博物館 サロン・ド・ソネット

〈チケットのお求め方法〉

○当館正門チケット売場でのチケット販売

受付時間:開館日の9:30～閉館の30分前まで

(月曜休館 ただし8/12、9/16、9/23は開館 9/17、9/24は閉館)

○電話予約販売

申込先:東京国立博物館 総務課イベント担当 TEL:03-3821-9270

受付時間:月曜日～金曜日 9:30～17:00(土日・祝日は除く)

引換方法:公演当日、9:30～ 当館正門観覧券売場にて現金引換えにてお渡しします。

*各イベントの詳細は、当館ウェブサイトでご確認ください。 *お車でのご来館はご遠慮ください。

「博物館でお花見を」花見で「句」館長賞発表

「博物館でお花見を」(3月9日～4月14日)の関連企画「東博句会」花見で「句」にて、俳句の募集を行いました。開催期間中、館内の投句ポストにて受付しましたところ、昨年の二百九十三句を大きく上回る四百八十一句もの応募をいただきました。ご投句いただきました年々、東京は例年よりも早咲きであったため、散りゆく桜を惜しむ句も多くございました。ご投句いただきました作品の中から、館長賞一名、副館長賞二名、桜賞三名を発表いたします。受賞者のみなさまには記念品を送らせていただきます。

館長賞
桜散るまた来年と手をふって 坂本千波

副館長賞
桜道昔も今も人集う 池田松代

桜賞
惜しげなく花降らしたる大樹かな 渡辺薫
目に写し類に移した桜色 山田傳介
鉄棒に凭れ一人の花見かな 野口明子

今秋 上島珈琲店 黒田記念館別館にオープン

休館中の黒田記念館別館に新しくカフェがオープンします。メニューは、コーヒー、ミルク珈琲、紅茶などのお飲み物、サンドイッチなどの軽食、ケーキなどのスイーツ。上島珈琲店のデザインコンセプト「レトロモダン」と黒田記念館のもつ芸術・文化的な世界観との融合を図り、ご来館の皆様にくつろいでいただける上質な空間を目指します。香り豊かなコーヒーとくつろぎの時間をお楽しみください。

*営業日・営業時間は東京国立博物館の開館日・開館時間に準じる予定です。*黒田記念館の展示の再開は、来年度以降になる予定です。



店舗イメージ

託児サービスを開始しました

子育て中のお客さまにも文化財をゆっくり楽しんでいただくため、託児サービスを開始しました。0歳児には専門のシッターが1人専属でつく「マンツーマン託児」、1歳児には2名様で1人、2歳児以上は3名様につき1人のシッターがお子様をお世話します。料金は、0～1歳児2,000円、2歳児以上1,000円。7月～11月の日程が決まりました。時間・申込方法など詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。



託児所イメージ

敬老の日は無料観覧日です

9月16日(月・祝)敬老の日は総合文化展のみ無料となります。

資料館のご利用について

資料館地下の改修工事に伴う騒音、振動が予想されるため、7月16日(火)から9月までの一定期間、資料館の閲覧を休止しないし制限することがあります。詳細が決まり次第、ウェブサイトにてお知らせします。お問合せ:資料館閲覧受付 電話 03-3822-1111(代)



京都展チケットプレゼント

本誌5ページでご紹介した特別展「京都一洛中洛外図と障壁画の美」(10月8日(火)～12月1日(日))のご招待券を抽選で10組20名様にプレゼントします。締切は9月27日(金)必着。

○プレゼントの応募方法

はがきに住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、職業、ならびにこの号で一番面白かった企画をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。

〒110-8712 台東区上野公園13-9 東京国立博物館 広報室「ニュース8・9月号」プレゼント係



東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では賛助会員制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・総合文化展・施設整備等の充実にあてられます。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同いただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効。
賛助会員には、特別会員と維持会員の2種類があります。
*賛助会員のお申込は随時受け付けております。

○年会費

特別会員 100万円以上
維持会員 法人 20万円 / 個人 5万円

○主な特典

- 特別展の内覧会にご招待
- 東京国立博物館ニュースの送付

○お問合せ

東京国立博物館総務部 賛助会担当
電話 03-3822-1111(代)

東京国立博物館賛助会員 2013年6月25日現在

特別会員

日本電設工業株式会社 様
株式会社 コア 様
大日本印刷株式会社 様
毎日新聞社 様
株式会社 大林組 様
朝日新聞社 様
株式会社 ミロク情報サービス 様
読売新聞社 様
三菱商事株式会社 様
凸版印刷株式会社 様

維持会員団体

TBS 様
株式会社 精養軒 様
株式会社 三冷社 様
株式会社 オルタークラエンタープライズ 様
株式会社 東京美術 様
株式会社 鶴屋吉信 様
日本通運株式会社 様
株式会社 安井建築設計事務所 様
株式会社 ナガホリ 様
松本建設株式会社 様
株式会社 古美術本 様
謙慎書道会 様
近代書道研究所 様
日本畜産興業株式会社 様
株式会社 東京書芸館 様
インフォコム株式会社 様
学校法人 大勝院学園 様
有限会社 システム設計 様
株式会社 インターネットイニシアティブ 様
株式会社 小西美術工芸社 様

ブルガリ ジャパン株式会社 様
公益財団法人 東芝国際交流財団 様
日本写真印刷株式会社 様
日本ロレックス株式会社 様
サロン・ド・ソネット 様
シティバンク銀行株式会社 様
株式会社 ミュージウムスタイルカフェ 様
株式会社 東芝 様
株式会社 みずほ銀行 様
一般財団法人 東京国立博物館協会 様

公和図書株式会社 様
有限会社 ギャラリーノ柳堂 様
株式会社 育伸社 様
株式会社 モリサワ 様
アミ開発有限会社 様
光村図書出版株式会社 様
株式会社 アク・ヒューマンリード 様
キョーリン製菓ホールディングス株式会社 様
株式会社 資生堂 様
株式会社 グラスパル・ジャパン 様
株式会社 デュナミクス 様
キッコーマン株式会社 様
公益財団法人 創玄書道会 様
朝陽書道会 様
一般社団法人 書芸文化院 様
株式会社 都市環境企画 様
全日本空輸株式会社 様
楽天銀行株式会社 様
株式会社 ケンエレファント 様

維持会員個人

木村 則子 様
高木 聖鶴 様
早乙女 節子 様
伊藤 信彦 様
井上 麗子 様
数内 人様
服部 悦子 様
岩沢 重美 様
高田 朝子 様
齋藤 京子 様
齋藤 邦裕 様
和田 喜美子 様
佐々木 芳絵 様
藤原 紀男 様
中川 俊光 様
関谷 徳樹 様
高橋 守 様
小澤 桂一 様
上久保 良子 様
榎田 真子 様
長谷川 英樹 様
池田 孝一 様
木村 剛 様
観世 あすか 様
星 望 尚 様
一般社団法人 書芸文化院 様
株式会社 都市環境企画 様
全日本空輸株式会社 様
楽天銀行株式会社 様
株式会社 ケンエレファント 様

竹下 佳宏 様
野澤 智子 様
坂田 浩一 様
池谷 正夫 様
藤 素一郎 様
秦 芳彦 様
木谷 昌巳 様
高梨 兵左衛門 様
渡久地 ツル子 様
汐崎 浩正 様
堤 勝代 様
平井 千恵子 様
高谷 光宏 様
青山 道夫 様
高橋 静雄 様
田中 千秋 様
小西 晴也 様
渡谷 洋志 様
清川 勉 様
仙石 哲朗 様
中井 伸行 様
田中 望 様
三井 達雄 様
坂崎 貴司 様
吉田 靖 様
松本 雅彦 様
篠田 弘弘 様
片山 正紀 様
伊藤 喜雄 様
井上 雄吉 様

大森 雅子 様
細川 要子 様
錦織 伸一 様
鈴木 幸一 様
秋元 文子 様
土師 昭三 様
土塚 建次 様
鏡 賢志 様
山田 輝明 様
増淵 信義 様
名取 幸二 様
増淵 信義 様
柳本 英信 様
本條 陽子 様
西原 賢一 様
加藤 康幸 様
安田 格 様
原 一之 様
筑紫 みづえ 様
島山 玲 様
山形 哲也 様
尾崎 昌雄 様
山本 雅司 様
倉片 康雄 様
栗山 哲夫 様
梅本 聖 様
梅本 享世 様
田頭 一舟 様
阿部 良雄 様
阿部 和加子 様
井茂 圭河 様

高味 良信 様
廣田 穰 様
杉山 恭規 様
山田 浩一 様
荻森 美子 様
高橋 明子 様
村井 明美 様
久保田 哲暁 様
小塚 泰博 様
星 八郎 様
星 弘道 様
熊谷 潤子 様
西永 義久 様
田中 節山 様
高木 聖雨 様
浦田 宏己 様
山中 翠谷 様
荒木 章 様
福岡 珍 様
中山 文子 様
山口 登 様
柳村 衛 様
横澤 剛志 様
小日向 志乃 様
佐藤 貴士 様
横田 隆義 様
新保 幸男 様
山田 伊知郎 様
田中 章 様
藤巻 綾子 様

ほか69名3社、県不同

TMN&TOPPAN ミュージアムシアター

8月10日(土)～9月29日(日)

◎VR作品 『洛中洛外にぎわい探訪 徳川の威光と二条城障壁画』

重要文化財 洛中洛外図舟木本(東京国立博物館蔵)の細部を読み解くシリーズ企画。秋の特別展「京都―洛中洛外図と障壁画の美」をより楽しむための予習にも最適です。

●上演時間:

水・木・金・土・日・祝 12:00、14:00、16:00

◎VR作品 『土偶 縄文人の祈りのカタチ』

土偶の秘密に迫る好評プログラムに、形はもちろん、重さまで再現したレプリカに触って実感する体験付バージョンです。夏休みの自由研究にも最適!

●上演時間:

水・木・金 13:00、15:00 / 土・日・祝 11:00、13:00、15:00

*約30分(当日予約制) 上記2プログラムを交互に上演

料金:一般・大学生・高校生:500円、小学生・中学生:300円、未就学児、障がい者及び同伴者1名:無料(1作品/1回あたり)

*大学生以上は総合文化展当日券(600円)とのセット購入で100円割引

*詳細はウェブサイトをご覧ください。 URL <http://www.toppa-vr.jp/mt/>

■一般のご寄附へのお礼

企業や一般の皆様からのお申し出により集まったご寄附は、作品の購入や修理事業に活用させていただいております。平成24年度にお寄せいただいた寄附金33,853,950円は、「重要文化財 先徳図像」(平安時代・12世紀 玄証筆)、「雪景山水図」(南宋時代・13世紀 梁楷筆)、「重要文化財 四季山水図」(室町時代・15世紀 雪舟筆)、「国宝 檜図屏風」(安土桃山時代・16世紀 狩野永徳筆)の修理費、および小袖等染織品の保存収納箱の作製費に充てさせていただきました。

皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。今後とも、当館の事業にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■募金へのお礼

平成24年4月より平成25年3月までの館内募金箱へのご寄附の総額は942,315円となりました。皆様のご厚志に心より感謝申し上げます。この浄財は、婦人像(作者不詳 1841年 グラスゴー博物館寄贈)のほか、染織品など13件の修理に使用いたしました。修理事業は今後も長期に亘り継続する予定です。引き続き、皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

資料館より―資料館の見学について

資料館では、美術史や博物館学などを学ぶ学生、大学院生のグループを対象に、1～2時間程度で資料館の概要や検索方法の説明と閲覧室の案内を行っています。検索システムで公開されている画像や、閲覧室に配された約28万枚の写真カードなど、豊富な画像資料もご覧いただき、これを機に資料館をご利用いただければ幸いです。また、収蔵品を中心とした美術に関する情報の膨大さと、データ整備にかけた思いを実感していただければと思っています。

グループで説明を希望される場合は、事前に資料館閲覧受付までご連絡ください。(03-3822-1111内線2326)

『MUSEUM』644号 (2013年6月15日発行)の掲載論文

- ①「日本における王羲之〈蘭亭序〉の受容」
恵美千鶴子(当館書跡・歴史室)
- ②「東京帝室博物館本館の屋根瓦と三州高浜の窯業 ―釉薬瓦生産技術をめぐる―」
川角久子(三州高浜鬼みち案内人の会)

定価:1,500円

お問合せ:当館ミュージアムショップまたは
中央公論事業出版(電話03-3535-1321)



国立博物館の展示案内

〈京都国立博物館〉

特別展観「遊び」

7月13日(土)～8月25日(日)

〈奈良国立博物館〉

特別展「みほとけのかたち―仏像に会う―」

7月20日(土)～9月16日(月・祝)

〈九州国立博物館〉

特別展「中国 王朝の至宝」

7月9日(火)～9月16日(月・祝)

東京国立博物館友の会&パスポート

友の会

年会費 1万円

発行日から1年間有効

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の総合文化展・平常展は何度でもご覧いただけます。特別展に関しては、観覧券を12枚配布。そのほか、本誌の定期郵送などさまざまな特典があります

パスポート

一般4,000円 学生2,500円

発行日から1年間有効

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の総合文化展・平常展は何度でも、お好きな6つの特別展を1回ずつ計6回までご覧いただけます

*建物の改修等のため、京都国立博物館の平常展示館、東京国立博物館の表慶館・黒田記念館など一部展示館を閉館しています。

◎お申込みは当館窓口、郵便振替または当館ウェブサイト

【郵便振替でのお申込】

●振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・職業・年齢・性別・メールアドレスを楷書でご記入ください

●振替用紙の半券が領収書になります。会員証、パスポートが届くまで保管しておいてください

●振替手数料はお客様の負担となります

●ご入金確認日より会員証、パスポートがお手元に届くまで2週間程かかります

友の会

加入者名(振替先)東京国立博物館友の会

口座番号 00160-6-406616

パスポート

加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート

口座番号 00140-1-668060

●振替用紙には申込区分(一般か学生)、学生の場合は、生徒手帳か学生証のコピーを郵送またはFAXでお送りください

◎お問合せ

電話 03-3822-1111(代) 友の会・パスポート担当

FAX 03-3821-9680

東京国立博物館ニュース定期郵送のご案内

本誌の定期購読をご希望の方は、年間(6冊分)1,000円の送料・事務費のご負担でご自宅にお届けします

◎お申込は郵便振替で

加入者名(振替先)東京国立博物館ニュース

口座番号 00100-2-388101

●振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を楷書でご記入ください

●振替用紙の半券が送料の領収書になります。1年間保管しておいてください

●振替手数料はお客様のご負担となります

●次号より送付ご希望の場合、締切は2013年9月10日です

東京国立博物館メールマガジンのご案内

特別展・各種催し・展示替・ウェブサイト更新などの情報をいち早くお届けします

●ご登録は <http://www.tnm.jp/> から

東京国立博物館利用案内

開館時間 9:30～17:00

2013年3月～12月の特別展開催期間中の

毎週金曜日は20:00まで開館

2013年4～9月の土日祝休日は18:00まで開館

(入館は閉館の30分前まで)

休館日

原則として月曜日(祝日・休日にあたる場合は開館、翌火曜日休館)、年末年始(2013年12月24日～2014年1月1日)。

総合文化展観覧料金

一般600(500)円、大学生400(300)円

※9月16日(月・祝)は総合文化展無料観覧日です。

●()内は20名以上の団体料金

●障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください

●満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方の総合文化展観覧は無料です。入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください

*各種イベント等のお申込みに際してご提供いただいた個人情報は、当該の目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします

2013・8

東京国立博物館 2013年8・9月の展示・催し物

2013・9

1 木	
2 金	夜間開館(20:00まで) 連続講座「和様の書」13:00 平成館大講堂*1 法 15:00
3 土	時間延長(18:00まで) 連続講座「和様の書」13:00 平成館大講堂*1 本 14:00
4 日	時間延長(18:00まで) 連続講座「和様の書」13:00 平成館大講堂*1 作 13:30 浮 14:00
5 月	休館日
6 火	列品解説「日本美術のつくり方Ⅳ」14:00 本館特別2室*2
7 水	浮 14:00
8 木	本 14:00
9 金	夜間開館(20:00まで) 英 14:00
10 土	時間延長(18:00まで) 記念講演会「かなから見た和様の書」13:30 平成館大講堂*1 陶 14:30
11 日	時間延長(18:00まで) ワークショップ「唐紙の魅力、料紙の魅力」10:00 小講堂、ファミリー ワークショップ「きらきら光る唐紙を摺ろう」14:30 小講堂*1 英(東)11:00 浮 14:00
12 月	
13 火	
14 水	
15 木	
16 金	夜間開館(20:00まで) 法 15:00
17 土	時間延長(18:00まで) 本 14:00 法 15:00
18 日	時間延長(18:00まで) ワークショップ「親子書道教室 三跡に挑戦」10:00 小講堂*1 英(東)11:00 英 12:00 近 13:00 考 14:30
19 月	休館日
20 火	列品解説「近現代の和様の書」14:00 平成館企画展示室*2
21 水	
22 木	本 14:00 彫 15:00
23 金	夜間開館(20:00まで)
24 土	時間延長(18:00まで) ファミリーワークショップ「きらきら光る唐紙を摺ろう」10:00 小講堂、ワークショッ プ「唐紙の魅力、料紙の魅力」14:30 小講堂*1 月「絵巻物残欠愛憎の譜」13:30 大講堂 陶 14:30
25 日	時間延長(18:00まで) 席上揮毫会(書のデモンストレーション) 10:30、15:30 平成館大講堂*3 彫 11:00 親子のギャラリー
26 月	休館日
27 火	
28 水	
29 木	
30 金	夜間開館(20:00まで)
31 土	時間延長(18:00まで)

1 日	時間延長(18:00まで) 浮 14:00
2 月	休館日
3 火	列品解説「宗達派「扇面散屏風」を読み解く」14:00 東洋館シアター*2 建 13:00
4 水	黒田記念館別館カフェオープン 浮 14:00
5 木	
6 金	夜間開館(20:00まで) 法 15:00
7 土	時間延長(18:00まで) 本 14:00
8 日	時間延長(18:00まで) 作 13:30 浮 14:00 特別展「和様の書」
9 月	休館日
10 火	列品解説「大谷探検隊ー大谷光瑞と西域探検の時代ー」 14:00 東洋館シアター*2
11 水	樹 13:30
12 木	庭 14:00 本 14:00
13 金	英 14:00
14 土	時間延長(18:00まで) 月「縄文時代の人と動物の造形」13:30 平成館大講堂 陶 14:30
15 日	時間延長(18:00まで) 英 12:00 茶 13:00 考 14:30
16 月・祝	時間延長(18:00まで) 総合文化展無料観覧日
17 火	休館日
18 水	秋の特別公開列品解説「酒井抱一と夏秋草図屏風」14:00 みどりのライオン(本館地下教育普及スペース)*4 秋の特別公開
19 木	秋の特別公開列品解説「インドネシアのワヤン」10:30 東洋館13室 「西域美術鑑賞入 門」14:00 東洋館3室 「梁山夫夫婦の白樺製冠帽」15:30 東洋館10室*4 彫 15:00
20 金	法 15:00
21 土	留学生の日*4 時間延長(18:00まで) 建(手話通訳付)11:00 本 14:00 樹 13:30 法 15:00
22 日	時間延長(18:00まで) 東博寄席 13:30 平成館大講堂*5 彫 11:00 庭 14:00
23 月・祝	時間延長(18:00まで)
24 火	休館日
25 水	秋の特別公開列品解説「酒井抱一と夏秋草図屏風」14:00 みどりのライオン(本館地下教育普及スペース)*4 樹 13:30
26 木	本 14:00
27 金	
28 土	秋の特別公開イベントデー 特別夜間開館(20:00まで) 秋の特別公開・講演会「酒井抱一筆「夏秋草図屏風」の 魅力」*4 15:00 平成館大講堂*4 コンサート フルート:11:00、13:30 ガムラン16:30、18:30*4 陶 14:30
29 日	時間延長(18:00まで) 秋のコンサート 14:30 平成館ラウンジ*6
30 月	休館日

*1 事前申込制。締切ました *2 詳細は本誌12ページ *3 詳細は本誌4ページ *4 詳細は本誌2・3ページ *5 有料イベント。チケットの販売について詳細は前号(719号)または当館ウェブサイトをご覧ください *6 有料イベント。詳細は本誌14ページ

本＝ボランティアによる本館ハイライトツアー(9/21はやさしい日本語でご案内します)、集合場所:本館1階エントランス
浮＝ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所:本館1階エントランス
陶＝ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所:本館1階エントランス
彫＝ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所:本館1階エントランス
樹＝ボランティアによる樹木ツアー(8月は休止します、9/21はやさしい日本語でご案内します)、集合場所:本館1階エントランス
考＝ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所:平成館考古展示室入口
法＝ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド(9/21はやさしい日本語でご案内します)、集合場所:法隆寺宝物館1階エントランス
茶＝ボランティアによる応挙館での茶会(8月は休止します)、集合場所:本館1階エントランス(参加費500円、先着15名、開始30分前に集合場所で整理券配布)

庭＝ボランティアによる庭園茶室ツアー(8月は休止します)、集合場所:本館1階エントランス(先着20名、開始30分前に集合場所で整理券配布)
英＝ボランティアによる英語ガイド(日本美術の流れ)、集合場所:本館1階エントランス
英(東)＝ボランティアによる英語ガイド(東洋館)、集合場所:東洋館1階エントランス
建＝ボランティアによるたてもの散歩ツアー(8月は休止します、9/21はやさしい日本語でご案内します)、集合場所:本館1階エントランス
作＝ボランティアによるこどもたちのアートスタジオ(事前申込制。いずれも申込は締切りました)
近＝ボランティアによる近代美術ガイド、集合場所:本館1階エントランス
月＝月例講演会、詳細は本誌12ページ
＝ミュージアムシアター。プログラム、上演時間等詳細は本誌15ページをご覧ください
※屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。